PCカンファレンス論文集(U-18)の論文原稿の書式について

―サブタイトル（がついている場合）―

山田 太郎\*1・田中 花子\*1

指導教員：鈴木 一郎\*2・佐藤 幸子\*2

Email: ichiro\_suzuki@ciec-h.ac.jp

\*1: ○○県立シーク高等学校普通科3年

\*2: ○○県立シーク高等学校

◎Key Words キーワード1，キーワード2，キーワード3，キーワード4，キーワード5

# はじめに

「2021PCカンファレンス」の分科会発表にご応募いただき，ありがとうございます。このWordファイルは【U-18】カテゴリー用の論文テンプレートです。

U-18部門は，筆頭および共著者全員が，小学生，中学生，高校生，高専3年生以下であることが条件です。また，論文投稿は指導教員が責任を持って行い，発表時も引率者として同席をお願いします。

論文は以下の説明に従って，2ページ以上4ページ以内にまとめてください。期限を過ぎると白紙にタイトル掲載となりますのでご注意ください。

# レイアウトの指定

## ページ設定

用紙サイズと余白は，このテンプレートから変更を行わないでください。ヘッダーとフッターには何も記入しないでください(ページ番号も不要)。

## ページ構成

先頭ページの原稿記入範囲の上部より順に，論文タイトル，著者名，指導教員名，連絡先メールアドレス，所属，キーワードの各項目を，1段組で記入してください。

本文は，本テンプレートに従い，2段組で順序立てて明瞭に記述してください。

## フォント指定

論文集全体でのバランスを取るために，表1の指定に従ってください。

表1 項目別のフォント指定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | フォント | ポイント |
| タイトル | ゴシック | 16 |
| （サブタイトル） | ゴシック | 14 |
| 著者・教員名・所属 | ゴシック | 10.5 |
| （メールアドレス） | ゴシック |
| キーワード | ゴシック |
| 各章の見出し | ゴシック | 11 |
| （節の見出し） | ゴシック | 10.5 |
| 本文 | 明朝 | 10 |
| 謝辞 | 明朝 | 10 |
| 参考文献 | 明朝 | 9 |

タイトルは16ポイントのゴシック体，サブタイトルがある場合は14ポイントのゴシック体で，それぞれセンタリングで記述してください。

筆者名および指導教員名は10.5ポイントのゴシック体で書き，各著者に文字飾りの上付きにて「＊1，＊2，・・・」の記号を付け，センタリングで記入してください。その下に「＊1:，＊2:，…」に続けて各著者の所属を左寄せで記述してください。著者の所属には学年も明記してください。差し支えなければ筆者名の並びの下に連絡先となる指導教員代表のEmailアドレスを書いてください。

なお，指導教員以外の協力者(大学や研究機関，連携企業・自治体，学校や地域の組織等)については，論文末尾の「謝辞」欄において述べるようにしてください。

本文は10ポイントのフォントを用いてください。各章の見出しは11ポイントのゴシック体，各節の見出しは10.5ポイントのゴシック体でそれぞれ記述してください。

# 論文の構成

## 本文の書き方

章立ては序論を「1.はじめに」等で始め，適切な章を設けたのち，最終章を「○.おわりに」等とする構成を基本としてください。なお，「謝辞」および「参考文献」も必要に応じて付けてください。

## 図表の挿入方法

図表には，それぞれ図表番号と説明を記したキャプションを付けてください。キャプションの位置は，表の場合は表2のように表の上，図の場合は図 1のように図の下としてください。

表2 図表の作成

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 説明 |
| 仕上がりサイズ | 1段幅(左右幅80ミリ以内）に収めることを原則とする。やむを得ない場合には2段の左右に収まるようにする。 |
| 使用フォント | 原則として本文と一致させる。 |



図 1 日本の世帯における情報通信機器の普及率

## 参考文献の書き方

参考文献は，以下の例を参考に，論文の最後に記載してください。

論文誌・雑誌の場合(1)は，著者名，タイトル，雑誌名，巻，号，ページ，発行年.

書籍の場合(2)は，著者名，書名，参照ページ，発行所，発行年.

本文中で参考文献に関連する箇所には，上の段落のところにあるように，参考文献の番号を上付きで付けてください。

# おわりに

本稿では『2021PCカンファレンス論文集』の【U-18】カテゴリーの論文執筆上の注意について述べました。この論文集に採録された論文の内容を2021PCカンファレンスにて発表していただきますので，発表のご準備もあわせてお願いいたします。

謝辞

本研究を進めるにあたりお世話になった，指導教員以外の外部協力者がいる場合には，本「謝辞」欄において所属とお名前を挙げて，謝意を述べるようにしてください。

参考文献

1. 著者名1，著者名2，著者名3：“題名”，雑誌名，巻，号，pp.27-38（2003）．
2. 著者名：“書名”，参照ページ，発行所（2006）．